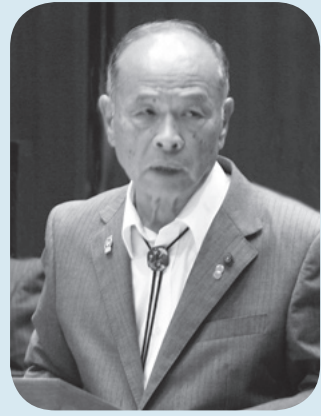


## 宇都宮宗康 議員



### (二問一答方式)

- ①新しい安全神話
- ②大洲市景観計画
- ③子ども・子育て支援制度における職員の処遇改善等
- ④マイナンバー制度

### 大洲市景観計画について

**問** 大洲市における良好な景観をつくるため、平成21年3月に大洲市景観計画が策定され、同年7月に大洲市景観条例が施行された。このことにより、日々の暮らしの中で住民一人一人が考え感じ

取る大洲らしさを美しい形として守り育てながら、次の時代へと引き継ぐものと思われるが、景観計画区域内の再利用可能な空き家の積極活用を進めれば、町のにぎわい確保にもつながるのではないか。

**答** 再利用可能な空き家の積極活用については、地域振興や定住促進の面からも大変有意義な手段であると考えています。そのためには、空き家バンクや町家バンクといった空き家情報を提供するための仕組みが必要になってきますが、行政単独で実施するには限界があることから、今後地元宅建業者を初めとした幅広い事業者との連携を図っていかねければならないと考えています。

### 子ども・子育て支援制度における職員の処遇改善等について

**問** 保育所施設の老朽化が目立つ。昭和56年以前の住宅には、耐震診断を受け、費用の一部助成もあるが、耐用年数をはるかに過ぎている保育所が地震などに耐え得ることができるとか。

**答** 市内の認可保育施設のうち昭和56年以前の建築確認において適用されていた基準、いわゆる

改築に向け解体工事が進む長浜保育所



旧耐震基準により建てられた施設は、公立の9保育所が該当しています。

大洲市子ども・子育て支援事業計画においては、老朽化した施設への対応を重点的に取り組んでいく事業に位置づけ、まずはその中でも特に老朽化の著しい2施設について、改築事業を進めているところとです。引き続き耐用年数を超え、経過年数の長い保育所を対象として、統廃合の計画や危険性、緊急性などを総合的に勘案して、順次整備を図っていきたくと考えています。

### マイナンバー制度について

**問** マイナンバー制度は来年1月から運用開始となるが、厚年金機構の年金情報流出問題で厚労省のサイバー攻撃への危機意識が不足していると指摘されている。このような情報流出問題もあり、政府はマイナンバー制度の個人番号と年金番号との連携時期を延期した。年金情報を漏えいさせてしまった日本年金機構の組織職員には、使命感がなく、その対応は犯罪にも等しいものである。本市では、住民基本台帳などの業務系のシステムは、職員全員が操作できるようにしているのか。

**答** 本市の住民基本台帳や税、保険、福祉などの業務に使用している基幹系システムでは、業務用の端末を操作するために必要なIDとパスワードを関係職員一人一人に付与しています。業務ごとに操作できる職員を限定し、個々の担当業務とは関係のない部分の操作や閲覧ができないような制限をかけているので、職員全員が操作できる状況ではありません。

